

広島市下水道局 デザインマンホールプロジェクト

広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科視覚造形



Hiroshima City University Faculty of Art
 Department of Design and Applied Arts
 Visual Communication Design

プロジェクト概要

良好な都市景観の形成や下水道のイメージアップを目的として、「デザインマンホールふた」のデザイン制作を行いました。市内の主要な交通結節点や広島城、マツダスタジアムの周辺地区など、幹線道路や補助幹線道路などを対象とした6地区に、それぞれのテーマをもったデザインマンホールふたが設置されています。

制作プロセス (2018年 西国街道)



1. ヒアリング まちなか西国街道推進協議会の方々に、西国街道の特徴や江戸時代の広島の歴史に関する取材を行いました。



2. 現地調査 事前調査やヒアリングで得た意見をもとに、実際に西国街道を練り歩きながらフィールドワークを実施しました。



3. コンセプト設定 調査したことを考慮しながら各自でアイデアを発想し、要素を整理して軸となるコンセプトを検討しました。



4. デザイン案作成 ドローイングによる素案の作成、原寸スケッチによる検討、ブラッシュアップを経て最終的に5案を完成させました。



5. プレゼンテーション 中区地域福祉センターにて、下水道局などの関係者に向けて各案の成果発表を行いました。



6. 敷設 採用案は微調整を繰り返して仕上げられました。そして2019年9月、出来上がったマンホールが市内に敷設されました。